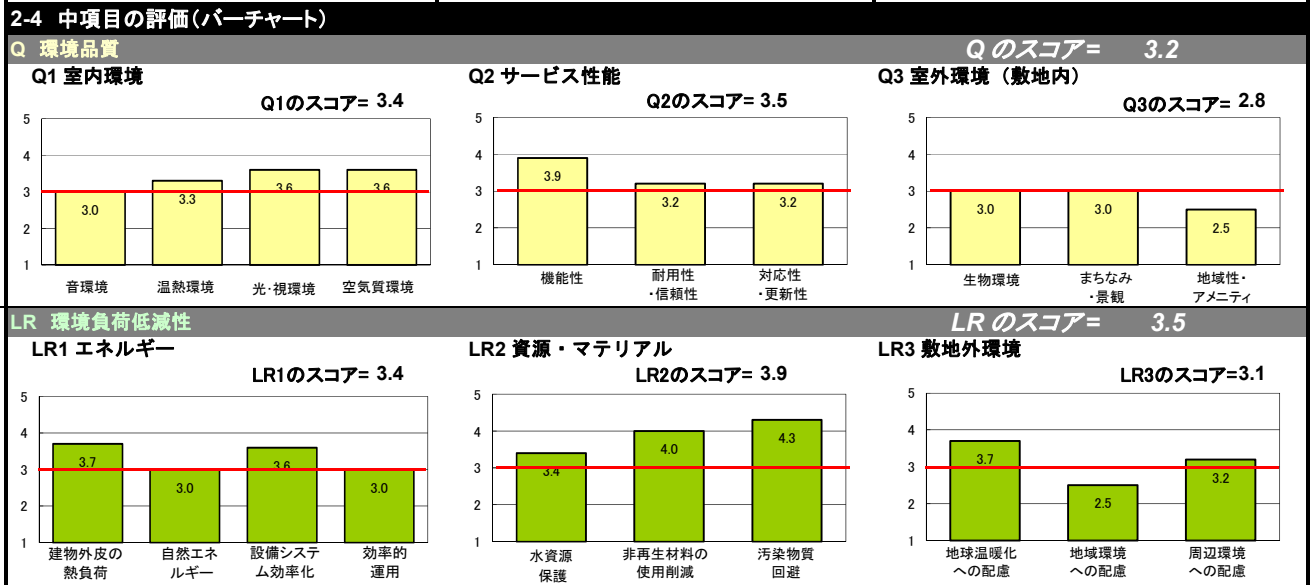
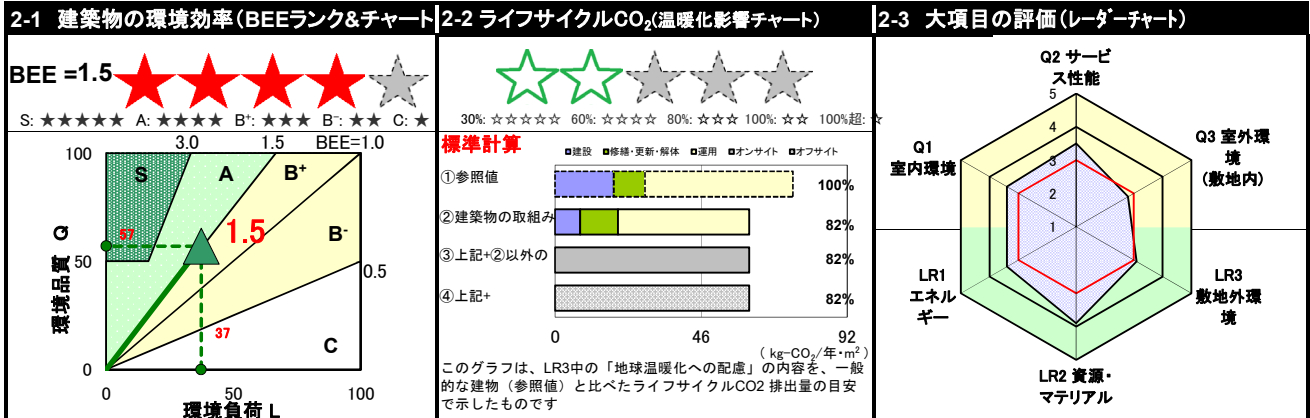


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	シティハウス横浜	階数	地上18F
建設地	横浜市西区北幸二丁目11番15	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	1,305 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	事務所、飲食店、集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年6月 竣工	評価の実施日	2021年3月15日
敷地面積	2,787 m ²	作成者	西松建設(株)関東建築支社
建築面積	1,477 m ²	確認日	2021年3月15日
延床面積	17,340 m ²	確認者	西松建設(株)関東建築支社



3 設計上の配慮事項		
総合 周辺地域との景観の統一を図る建物配置、高さ、色彩とし、周辺からの見え方に配慮した。また、街区の緑とのつながりが生みだすにぎわいの拠点として、様々な使い方を想定した設えの公開空地を整備することで、多様なアクティビティによる地域の賑わいの創出を目指した。		その他 横浜市市街地環境設計制度
Q1 室内環境 住宅専有部分について、断熱等性能等級4とし、高い昼光率を確保している。また、F☆☆☆☆の建材を採用、建物内を禁煙とするなど、室内環境の向上に努めている。	Q2 サービス性能 横浜市福祉のまちづくり条例に適合し、住宅部分については住宅性能評価における劣化対策等級3を取得している。また、免震層の設置や空調・給排水配管の更新対策にも配慮するなど、建物のサービス性能の向上に努めている。	Q3 室外環境(敷地内) 外構緑化指数20%以上50%未満とし、地上部の植栽帯には自動灌水設備を設置、南側の公開空地には、シンボルツリーやバーゴラを主とした身近に感じられる豊かな緑、多様な利用を促す家具を設けることで、様々な人々が集まり、自然に親しめる広場を計画している。
LR1 エネルギー 住宅部分について、断熱等性能等級4とし、住宅部分のBEI=0.92、非住宅部分のBEIm=0.79としている。	LR2 資源・マテリアル 構造材料、非構造部材についてリサイクル材を積極的に採用している。また、LGS下地やノンフロンの断熱材を採用するなど、資源・マテリアルについて配慮した設計としている。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率82%とし、光害の抑制に配慮するなど、敷地外環境の向上に努めている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される■LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい



4 横浜市重点項目についての環境配慮概要

<非住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。

建物名称 シティハウス横浜

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving

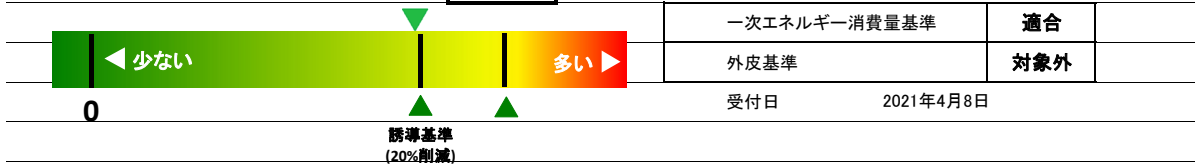
重点項目への取組(5点満点)

【省エネルギー性能】

3

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)

この建物の設計一次エネルギー消費量 21 %削減



誘導基準
(20%削減)

■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

①住宅部分:断熱等性能等級4

③住宅部分BEI=0.92、非住宅部分BEI=0.79

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community

重点項目への取組(5点満点)

【快適・働きやすさ】

3

■室内環境対策 (⑨温熱環境対策 ⑩光環境 ⑪空気質環境)

⑪F☆☆☆☆の建材をほぼ全面的に採用

■機能性対策 (⑫機能性 ⑬知的生産性向上の取組)

⑫維持管理に配慮した設計

■室外環境(敷地内)対策 (⑭敷地内温熱環境の向上)

防災への配慮 (R) Resilience

重点項目への取組(5点満点)

【防 災】

3

■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

⑮免震層の設置

⑯住宅性能評価における劣化対策等級3

⑰空調・給排水配管の更新対策に配慮している

⑰耐震クラスA

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape

重点項目への取組(5点満点)

【地域・まちづくり】

3

■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

太陽光発電などの導入

環境配慮技術の導入

(太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)

エネルギーマネジメントシステム導入



4 横浜市重点項目についての環境配慮概要

<集合住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。

建物名称 シティハウス横浜

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving

重点項目への取組(5点満点)

【省エネルギー性能】

2

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)

この建物の設計一次エネルギー消費量 8 %削減



一次エネルギー消費量基準

適合

外皮基準

適合

受付日

2021年4月8日

誘導基準
(10%削減)

■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

①住宅部分:断熱等性能等級4

③住宅部分BEI=0.92、非住宅部分BEI=0.79

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community

重点項目への取組(5点満点)

【健康・安心】

3

■室内環境対策 (⑤外皮性能)

◆断熱等性能等級 等級4 (相当) ※全住戸の断熱性能のレベルの加重平均による

■健康・安心対策 (⑥健康対策 ⑦防犯対策)

■その他の対策 (⑧自然材料・通風の工夫など)

◆工夫の有無 なし

防災への配慮 (R) Resilience

重点項目への取組(5点満点)

【防 災】

3

■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

⑮免震層の設置

⑯住宅性能評価における劣化対策等級3

⑰空調・給排水配管の更新対策に配慮している

⑰耐震クラスA

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape

重点項目への取組(5点満点)

【地域・まちづくり】

3

■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

太陽光発電などの導入

環境配慮技術の導入

(太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)

エネルギーマネジメントシステム導入



CASBEE横浜2017年版v.1.7

シティハウス横浜

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.7

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅> <集合住宅>		評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質					-		-			3.2
Q1 室内環境					0.40					3.4
1 音環境				3.0	0.15	3.0	1.00			3.0
1.1 騒音				3.0	0.48	3.0	0.50			-
1.2 遮音				3.0	0.48	3.0	0.50			-
1 開口部遮音性能				3.0	0.92	3.0	0.30			-
2 界壁遮音性能				3.0	0.08	3.0	0.30			-
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	-	3.0	0.20			-
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-	-	3.0	0.20			-
1.3 吸音				3.0	0.04	-	-			-
2 温熱環境				2.6	0.35	4.0	1.00			3.3
2.1 室温制御				3.0	0.50	4.0	1.00			-
1 室温		快適・働きやすさ ⑨温熱環境		3.0	0.57	-	-			-
2 外皮性能		快適・働きやすさ 健康・安心 ⑨温熱環境 ⑤外皮性能		3.0	0.35	4.0	1.00			-
3 ソーラ別制御性		快適・働きやすさ ⑨温熱環境		3.0	0.08	-	-			-
2.2 湿度制御		快適・働きやすさ ⑨温熱環境		1.0	0.20	-	-			-
2.3 空調方式		快適・働きやすさ ⑨温熱環境		3.0	0.30	-	-			-
3 光・視環境				3.0	0.25	4.1	1.00			3.6
3.1 昼光利用				3.0	0.31	4.2	0.50			-
1 昼光率		快適・働きやすさ ⑩光環境		3.0	0.59	5.0	0.63			-
2 方位別開口		快適・働きやすさ ⑩光環境		-	-	3.0	0.38			-
3 昼光利用設備		快適・働きやすさ ⑩光環境		3.0	0.41	-	-			-
3.2 グレア対策				3.0	0.30	4.0	0.50			-
1 昼光制御		快適・働きやすさ ⑩光環境		3.0	1.00	4.0	1.00			-
3.3 照度		快適・働きやすさ ⑩光環境		3.0	0.15	-	-			-
3.4 照明制御		快適・働きやすさ ⑩光環境		3.0	0.25	-	-			-
4 空気質環境				3.6	0.25	3.6	1.00			3.6
4.1 発生源対策				4.0	0.58	4.0	0.63			-
1 化学汚染物質		快適・働きやすさ ⑪空気質環境		4.0	1.00	4.0	1.00			-
4.2 換気				3.0	0.38	3.0	0.38			-
1 換気量		快適・働きやすさ ⑪空気質環境		3.0	0.47	3.0	0.33			-
2 自然換気性能		快適・働きやすさ ⑪空気質環境		3.0	0.07	3.0	0.33			-
3 取り入れ外気への配慮		快適・働きやすさ ⑪空気質環境		3.0	0.47	3.0	0.33			-
4.3 運用管理				4.0	0.04	-	-			-
1 CO ₂ の監視		快適・働きやすさ ⑪空気質環境		3.0	0.50	-	-			-
2 喫煙の制御		快適・働きやすさ ⑪空気質環境		5.0	0.50	-	-			-
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-			3.5
1 機能性				3.5	0.40	4.2	1.00			3.9
1.1 機能性・使いやすさ				3.7	0.40	5.0	0.60			-
1 広さ・収納性		快適・働きやすさ ⑫機能性		1.0	0.07	-	-			-
2 高度情報通信設備対応		快適・働きやすさ ⑫機能性		3.0	0.07	5.0	1.00			-
3 バリアフリー計画		快適・働きやすさ ⑫機能性		4.0	0.87	-	-			-
1.2 心理性・快適性				2.9	0.30	3.0	0.40			-
1 広さ感・景観		快適・働きやすさ ⑫機能性		3.0	0.07	3.0	0.50			-
2 リフレッシュスペース		快適・働きやすさ ⑫機能性		2.0	0.07	-	-			-
3 内装計画		快適・働きやすさ ⑫機能性		3.0	0.86	3.0	0.50			-
1.3 維持管理				4.0	0.30	-	-			-
1 維持管理に配慮した設計		快適・働きやすさ ⑫機能性		4.0	0.50	-	-			-
2 維持管理用機能の確保		快適・働きやすさ ⑫機能性		4.0	0.50	-	-			-
2 耐用性・信頼性				3.2	0.30	-	-			3.2
2.1 耐震・免震				3.2	0.50	-	-			-
1 耐震性		防 災 ⑬耐震・免震		3.0	0.80	-	-			-
2 免震・制振性能		防 災 ⑬耐震・免震		4.0	0.20	-	-			-
2.2 部品・部材の耐用年数				3.3	0.30	-	-			-
1 躯体材料の耐用年数		防 災 ⑬部品・部材の耐用年数向上		5.0	0.20	-	-			-
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		防 災 ⑬部品・部材の耐用年数向上		2.0	0.20	-	-			-
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		防 災 ⑬部品・部材の耐用年数向上		2.0	0.10	-	-			-
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		防 災 ⑬部品・部材の耐用年数向上		3.0	0.10	-	-			-
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		防 災 ⑬部品・部材の耐用年数向上		5.0	0.20	-	-			-
6 主要設備機器の更新必要間隔		防 災 ⑬部品・部材の耐用年数向上		2.0	0.20	-	-			-
2.4 信頼性				3.2	0.20	-	-			-
1 空調・換気設備		防 災 ⑭信頼性		3.0	0.20	-	-			-
2 給排水・衛生設備		防 災 ⑭信頼性		3.0	0.20	-	-			-
3 電気設備		防 災 ⑭信頼性		3.0	0.20	-	-			-
4 機械・配管支持方法		防 災 ⑭信頼性		4.0	0.20	-	-			-
5 通信・情報設備		防 災 ⑭信頼性		3.0	0.20	-	-			-
3 対応性・更新性				3.1	0.30	3.4	1.00			3.2
3.1 空間のゆとり				4.6	0.06	3.8	0.50			-
1 階高のゆとり				5.0	0.60	5.0	0.60			-
2 空間の形状・自由さ				4.0	0.40	2.0	0.40			-
3.2 荷重のゆとり				3.0	0.06	3.0	0.50			-
3.3 設備の更新性				3.0	0.87	-	-			-
1 空調配管の更新性				3.0	0.20	-	-			-
2 給排水管の更新性				3.0	0.20	-	-			-
3 電気配線の更新性				3.0	0.10	-	-			-
4 通信配線の更新性				3.0	0.10	-	-			-
5 設備機器の更新性				3.0	0.20	-	-			-



CASBEE横浜2017年版v.1.7

シティハウス横浜

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.7

スコアシート			実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目			<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
		6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)					-	0.30	-	-	-	2.8	
1 生物環境の保全と創出			地域・まちづくり	⑩生物環境の保全と創出	3.0	0.30	-	-	-	3.0	
2 まちなみ・景観への配慮			地域・まちづくり	⑨まちなみ・景観への配慮	3.0	0.40	-	-	-	3.0	
3 地域性・アメニティへの配慮					2.5	0.30	-	-	-	2.5	
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			地域・まちづくり	⑩地域性への配慮	3.0	0.50	-	-	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			快適・働きやすさ	⑪敷地内温熱環境の向上	2.0	0.50	-	-	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性					-	-	-	-	-	3.4	
LR1 エネルギー					-	0.40	-	-	-	3.4	
1 建物外皮の熱負荷抑制			省エネルギー性能	①建物の熱負荷抑制	3.6	0.20	-	-	-	3.6	
2 自然エネルギー利用			省エネルギー性能	②自然エネルギー利用	3.0	0.10	-	-	-	3.0	
3 設備システムの高効率化			省エネルギー性能	③設備システムの高効率化	3.6	0.50	-	-	-	3.6	
4 効率的運用					3.0	0.20	-	-	-	3.0	
			集合住宅以外の評価		3.0	0.21	-	-	-	-	
			4.1	モニタリング	省エネルギー性能	④効率的運用	3.0	0.50	-	-	
			4.2	運用管理体制	省エネルギー性能	④効率的運用	3.0	0.50	-	-	
			集合住宅の評価		3.0	0.79	-	-	-	-	
			4.1	モニタリング	省エネルギー性能	④効率的運用	3.0	0.50	-	-	
			4.2	運用管理体制	省エネルギー性能	④効率的運用	3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル					-	0.30	-	-	-	3.9	
1 水資源保護					3.4	0.20	-	-	-	3.4	
1.1 節水					4.0	0.40	-	-	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用					3.0	0.60	-	-	-	-	
			1	雨水利用システム導入の有無	3.0	0.70	-	-	-	-	
			2	雑排水等利用システム導入の有無	3.0	0.30	-	-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減					4.0	0.60	-	-	-	4.0	
2.1 材料使用量の削減					2.0	0.10	-	-	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用					3.0	0.20	-	-	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用					5.0	0.20	-	-	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用					5.0	0.20	-	-	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材					2.0	0.10	-	-	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み					5.0	0.20	-	-	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避					4.3	0.20	-	-	-	4.3	
3.1 有害物質を含まない材料の使用					5.0	0.30	-	-	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避					4.0	0.70	-	-	-	-	
			1	消火剤	-	-	-	-	-	-	
			2	発泡剤(断熱材等)	5.0	0.50	-	-	-	-	
			3	冷媒	3.0	0.50	-	-	-	-	
LR3 敷地外環境					-	0.30	-	-	-	3.1	
1 地球温暖化への配慮					3.6	0.33	-	-	-	3.6	
2 地域環境への配慮					2.5	0.33	-	-	-	2.5	
2.1 大気汚染防止					3.0	0.25	-	-	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善					2.0	0.50	-	-	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制					3.0	0.25	-	-	-	-	
			1	雨水排水負荷低減	3.0	0.25	-	-	-	-	
			2	汚水処理負荷抑制	3.0	0.25	-	-	-	-	
			3	交通負荷抑制	3.0	0.25	-	-	-	-	
			4	廃棄物処理負荷抑制	3.0	0.25	-	-	-	-	
3 周辺環境への配慮					3.2	0.33	-	-	-	3.2	
3.1 騒音・振動・悪臭の防止					3.0	0.40	-	-	-	-	
			1	騒音	3.0	1.00	-	-	-	-	
			2	振動	-	-	-	-	-	-	
			3	悪臭	-	-	-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制					3.0	0.40	-	-	-	-	
			1	風害の抑制	3.0	0.70	-	-	-	-	
			2	砂塵の抑制	1.0	-	-	-	-	-	
			3	日照障害の抑制	3.0	0.30	-	-	-	-	
3.3 光害の抑制					4.4	0.20	-	-	-	-	
			1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	5.0	0.70	-	-	-	-	
			2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	3.0	0.30	-	-	-	-	

上記以外の重点項目						-	-	-	-
<事務用途>						-	-	-	-
知的生産性向上への取組					快適・働きやすさ	⑬知的生産性向上への取組	1.0	-	-
<住宅用途>						-	-	-	-
健康と安心						-	-	-	-
1 化学汚染物質の対策					健康・安心	⑥健康対策	3.0	-	-
2 適切な換気計画					健康・安心	⑥健康対策	3.0	-	-
3 結露・カビ対策					健康・安心	⑥健康対策	3.0	-	-
4 犯罪に備える(共用部の防犯対策)					健康・安心	⑦防犯対策	1.0	-	-